

はぐくみ通信



第122号

令和7年2月18日

中丹教育局 HP



中丹地区社会教育委員

連絡協議会 研修会

舞鶴赤れんがパーク 令和6年12月4日(水)



コーディネーター 福知山公立大学 教授 谷口 知弘 様
スピーカー 福知山公立大学 准教授 大門 大朗 様

テーマ「防災における社会教育の役割」

大門准教授には実践的な防災教育を通じて地域の防災力向上についてのお話をいただき、谷口教授には、地域資源を生かした地域づくりと「つながりから豊かな社会をつくる」重要性について参加者の皆様と学びを広めていただきました。

今年の研修会は、中丹管内3市の社会教育委員と教育委員の皆様が、同じ研修会に参加し、すべての子どもたちが安心して学べる環境の整備等地域社会の安全と安心を築くために思いを共有し、幅広い視点からこれからの教育について考えていただきました。

社会教育委員と教育委員が防災について協議！

地域社会全体で子どもたちの学びを支援するために
コミュニティ・スクールと地域学校協働活動
の意味のある一体的実施を！

「地域学校協働活動」は、学校教育への応援・支援活動を含みますが、目的は『学校を核とした地域づくり』であり、地域の担い手を育てることです。

「コミュニティ・スクール」は、学校運営協議会を設置した学校のこと、目的は『地域とともにある学校づくり』であり、子どもたちを育てることです。

それぞれの目的を達成するために、それぞれの立場と場所で、地域の担い手=子どもたちを育てることが重要です。学校と地域が役割と責任を分かち合えるよう、互いにパートナーとして目標を共有することが大切です。

つながりから豊かな社会をつくりましょう！

防災+教育の4つの要素

～大門准教授のお話より～

- ① 理解力=リスクを知る。
 - 災害の怖さがわかる。
- ② 効力感=自分の身を守る力
 - どう対処すればよいかわかる。
- ③ 想像力=他者への共感
 - 何に困っているのか想像できる。
- ④ 創造力=助けられる力
 - 周囲の弱い立場の人へ手を差し伸べるようになる。

【参加者の感想より】

- 防災はつながりが重要。
- 安心できる場所は普段からの関係づくりが必要である。
- 様々な立場の方に配慮できる環境づくりを地域と学校と一緒に考える必要がある。